

# 市制施行80周年記念誌の発刊によせて



舞鶴市長  
鴨田秋津

舞鶴市は、昭和18年5月27日に、当時の舞鶴市と東舞鶴市が合併し、現在の舞鶴市が誕生いたしました。

苛烈を極めた戦争、そして、終戦直後の疲弊と混乱の中、本市は大変困難な状況での船出を迎えましたが、その後、引揚港として、13年間にわたり約66万人の引揚者を温かく迎え入れ、また、昭和25年には、平和産業港湾都市への転換を目指す旧軍港市転換法が制定され、再生復興への道を歩みはじめました。

以来、幾多の自然災害をは

じめ、多くの試練に見舞われながら、それらを懸命に乗り越え、都市基盤の整備や、港を中心とした地域産業の発展、高速道路網をはじめとする交通ネットワークの充実により、市民生活の向上が図られ、今日の平和で豊かな「舞鶴市」が築き上げられました。

令和5年、市制施行80周年という記念すべき年を迎えまして、これまでまちの発展に懸命に尽くしてこられた先人たちの情熱とたゆみない努力に改めて思いを馳せるとともに、深甚なる敬意と謝意を表

します。

こうした歴史を歩んできたなかで、今日、少子高齢化と人口減少が急速に進展し、不安定化する世界情勢が産業や市民生活にも大きな影響を及ぼすなど、我が国、そして本市を取り巻く環境は複雑化しており、私たちの目の前には大きな課題がいくつも立ちま

だかっています。

しかしながら、このような時にこそ、先人たちの歩みに学び、かつ、時代の変化を的確に捉えながら、市民と行政とが力を合わせて課題の一つ

一つに立ち向かい、誇れるふるさと舞鶴を次世代に確実に継承していくことが、我々に課せられた責務であると強く感じています。

この舞鶴市には、豊かな自然や個性ある歴史・文化、豊富な農林水産物など、素晴らしい地域資源が数多くあります。これら地域資源を最大限に活かしながら、住み続けたいまち、戻ってきたいまち、住んでみたいいまちを実現するとともに、地域を支え、まちで活躍する元気な若い世代を育み、地域経済の力強い回復につながる「地域で循環する社会の構築」を推し進めてまいります。

そして、未来に希望がもてる活力あるまちの実現をめざし、市民の皆さまと対話しながら一緒にあって、新たな時代にふさわしい舞鶴市の創造に取り組んでまいります。